

## (2) 青森慈恵会病院（青森市）

### 1) 社団法人慈恵会病院グループ概要

<p style="text-align: center;"><b>医療事業</b></p> <p style="text-align: center;">【社団法人 慈恵会】</p> <p>・ <b>青森慈恵会病院（250床）</b></p> <p>一般 70床 （うち亜急性期病床8床） （うち緩和ケア30床）</p> <p>療養 180床 （うち医療型療養36床） （うち回復期リハ144床）</p> <p>・ <b>青い森病院（160床）</b></p> <p>精神療養 110床 老人性認知症疾患治療 50床</p> <p>・ <b>慈恵クリニック</b></p> <p style="text-align: center;">【社会福祉法人 敬仁会】</p> <p>・ <b>青森敬仁会病院</b></p> <p>療養 120床 （うち医療型療養60床） （うち回復期リハ60床）</p>	<p style="text-align: center;"><b>介護、福祉施設事業</b></p> <p style="text-align: center;">【社団法人 慈恵会】</p> <p>老健</p> <p>・ 青照苑（定員100人）</p> <p style="text-align: center;">【社会福祉法人 敬仁会】</p> <p>特養</p> <p>・ 鶴ヶ丘苑（定員90人） ・ かいふう（定員50人）</p>	<p style="text-align: center;"><b>在宅事業</b></p> <p style="text-align: center;">【社団法人 慈恵会】</p> <p>・ 訪問看護ステーション1ヶ所 ・ ホームヘルプサービス1ヶ所 ・ グループホーム2ヶ所 （定員45人）</p> <p>・ 有料老人ホーム1ヶ所 （定員38人）</p> <p>・ 居宅介護支援事業所2ヶ所 ・ 在宅介護支援センター1ヶ所 ・ デイケアセンター3ヶ所</p> <p style="text-align: center;">【社会福祉法人 敬仁会】</p> <p>・ 居宅介護支援事業所2ヶ所 ・ 在宅介護支援センター1ヶ所 ・ デイサービスセンター1ヶ所 ・ デイケアセンター1ヶ所 ・ ケアハウス（定員30人）</p>
<p style="text-align: center;"><b>予防医療・リハ事業</b></p> <p style="text-align: center;">【社団法人 慈恵会】</p> <p>・ 疾患予防施設 VITA ・ 青森慈恵会病院 通所リハビリテーション ・ デイケアセンターさくら</p>		

青森慈恵会病院（以下、慈恵会病院）は青森市内に立地する3点セット（病院・老健・特養）の複合体<sup>15</sup>の中核病院である。慈恵会病院は昭和36年に、初代理事長である丹野敬蔵医師が社団法人慈恵会を設立し、精神科病院（56床）を開業したことに始まる。その後、精神科病院は青い森病院に移管し、慈恵会病院は現在、一般病床70床（一般40床、緩和ケア30床）、療養病床180床（回復期リハ144床、医療型療養36床）のケアミックス病院となっている。

昭和45年には社会福祉法人を設立し、特養を開設、平成元年には医療法人にて老

<sup>15</sup> 二木立「保健・医療・福祉複合体」、医学書院、1998年

健を開設するなど、早い時期から複合体体制を築いた。現理事長は先代の長男で 2 代目だが、医師ではない。理事長の弟が 2 人いて、ともに医師であり、一人が専務理事で専務理事の助言のもと、もう一人の弟が慈恵会病院長を務めている。

## 2) 地域特性

慈恵会病院の立地する青森市は、青森二次医療圏（青森市、平内町、外ヶ浜町、今別町、蓬田村）に属する。人口は青森二次医療圏全体で約 34 万人（青森市だけで約 31 万人）、青森県全体が昭和 60 年をピークに減少しているのと同様、当該医療圏も同時期より減少傾向にある。なお、当該医療圏の高齢化率は 21.2%（全国平均 20.1%）で全国平均よりも若干高い程度である。

青森二次医療圏全体でみると、病院数 24 施設のうち公的病院が 9 施設と、3 分の 1 以上が公的病院であり、青森県全体と同じく公的病院が多い（表 28）。

青森二次医療圏の基準病床数（療養及び一般）の充足率は 103.3%で病床過剰地域である。人口 10 万人当り一般病床数をみると、全国平均 821 床に対し、青森二次医療圏は 1,255 床と全国平均を大きく上回っているが、高齢者 10 万人当り療養病床数では全国平均 1,448 床に対し、1,423 床と若干少ない（表 29）。一般病床が多い理由として、国立療養所松丘保養園のハンセン病病床（477 床）が含まれているほか、既に述べたように、公的病院比率の高さから、人口減や高齢化といった需要の変化に応じた病床削減や病床転換が弾力的に行われなかったことの影響も推測される。